ニッカンJr.ジュニア　火曜日　ママも一緒に！家族で釣り　Tuesday

稚魚1万匹放流

東京からギョギョギョ

放流のタイミングで羽田空港から大空に旅客機が飛び立った

こちらはマコガレイ

10日午前、東京湾でマコガレイの稚魚約1万匹が放流された。東京湾遊漁船業協同組合が、山口県下松市の市栽培センターから取り寄せた。

同組合の飯島正宏理事長は「やはり、マコガレイは古くから江戸前の釣り魚種の王様。近年は魚影も薄くなっているが、放流事業の成果なのか少しずつ増えている感触はある。元気に育ってほしい」と放流するために使ったバケツを強く握りしめた。

マコガレイの稚魚放流は2年前に同数で実施していた。このときは、別の県で育てていた稚魚だったが、育てるのが難しい魚でもあり、全国の栽培センターに問い合わせて、下松市にたどりついたという。

放流ポイントは、過去2年はすべて羽田空港沖に1万匹を放していたが、今年は、葛西海浜公園沖の水深3メートル以深の干潟に地形移行する浅場の2カ所でまかれた。放された稚魚は3・4～7センチで、主流は5センチ超だった。

毎年2月には「江戸前釣り大会冬カレイ」のタイトルで、マコガレイを対象とした大会を実施しており、今年も釣り船15隻269人が参加した。今回の葛西沖での放流実施は、今年の大会でマコガレイの捕獲率が高かったことと、産卵場になる可能性のある場所であることが理由となった。

年末のノッコミ期に産卵すれば、年明けには学名ヨコハマ」のマコガレイ豊漁も夢ではなさそうだ。

放流されたマコガレイ。こんなに小さい

大観覧車を背景に葛西沖でマコガレイ稚魚が放流された

東京湾遊漁船業協組放流実績

年	月	魚種	匹数
1988	6	ヒラメ	2万
	6	★クロダイ	2万
	6	★クロダイ	2万
89	6	ヒラメ	5万
	6	★クロダイ	5万
	6	★クロダイ	1000
90	6	ヒラメ	2万
	9	★クロダイ	5万
	9	★クロダイ	5万
91	11	黒メバル	1万
92	11	★黒メバル	3万
		ヒラメ	5000
93	9	★クロダイ	4万2000
		黒メバル	2万
		ママダイ	3万
		ママダイ	2万
94	10	黒メバル	2万
	11	ヒラメ	2万
95	5	★クロダイ	1万
	9	★クロダイ	4万2000
	10	マダイ	2万
96	6	カサゴ	2万
		★カサゴ	2万
		★カサゴ	2万
		◆ヒラメ	3万6000
		★クロダイ	4万2000
97	9	◆ヒラメ	4万
	6	★クロダイ	4万2000
	9	黒メバル	2万
98	11	◆ヒラメ	4万
	6	★クロダイ	4万2000
	9	クロソイ	1万2000
99	11	★クロダイ	4万2000
	9	クロソイ	1万3000
2000	11	★クロダイ	4万2000
	9	クロソイ	1万3000
11	11	●カサゴ	3万
	7	黒メバル	1万3000
12	11	●カサゴ	2万5000
	9	黒メバル	1万3000
13	11	●カサゴ	2万5000
	9	黒メバル	1万3000
14	11	黒メバル	1万3000
15	9	●カサゴ	2万5000
16	9	●カサゴ	2万5000
	11	黒メバル	1万3000
17	4	マコガレイ	1万
18	9	●カサゴ	2万5000
	11	黒メバル	1万3000
19	7	マコガレイ	1万

※2001～2010年は記録はないが、毎年2回放流事業が実施されて、クロソイかカサゴ、黒メバルのいずれかが対象魚となっていた。無印は組合主催、★日本釣振会（日釣振）主催、◆東京釣用品協同組合主催、●組合と日釣振の共催

神奈川からギョギョギョ

オカマリ「キャー、カワイー」

「きゃー、こんなヒラメ初めてみた」とオカマリ大興奮（下）放流されたヒラメ、約6センチ

ヒラメ

♥大きくなってね

東京湾

夏休みを前に東京湾では釣り宿団体による稚魚放流が実施された。10日には、東京都を中心とした「東京湾遊漁船業協同組合」（加盟19軒）がマコガレイ、翌11日には、神奈川県の横浜&川崎「神奈川県釣船業協同組合」（同じ13軒）がヒラメを、それぞれ約1万匹放した。「オカマリ」こと女子アングラー岡田万里奈（25）が、八景沖からリポートする。

海でもするんです

こんにちは、オカマリです。今月11日に実施された神奈川県釣船業協同組合（黒川忠雄理事長＝八景・野毛屋）のヒラメの稚魚放流に参加してきました。湖や川では聞いたことがありますけど、海でも放流、ってするんですね。もう、ビックリです。

この組合は、八景や川崎の船宿13軒で構成されているんです。歴史をひもとくと、1997年10月にクロソイ2万匹を八景沖に放しているの。だから、放流事業は22年続いている。メバル、カサゴの底魚やセイゴやマダイなどの回遊魚も放流してるんですね。

今回は、あのヒラメをなんと約1万匹！　ヒラメはね、2年前にやっぱり1万匹放流してまーす。最近、東京湾でもヒラメが釣れた、って耳にしますけど、その効果が出てきてるのかな。今回放流したヒラメが大きくなって、私が釣っちゃうかもしれないんですね、スゴいなぁ。

八景沖、船上からヒラメの稚魚を放った

可能性を広げたい

でも、何でヒラメなのかなぁ～。「てっちゃん船長」とも呼ばれていて、この組合の専務理事でもある一之瀬徹也さん（八景・一之瀬丸）に聞きました。

てっちゃん船長　東京湾はいろいろな魚の宝庫です。放流をすることによってクロソイやカサゴ、マダイは確実に濃くなっていると感じる。ならば、1魚種だけを伸ばすのではなく、多くの可能性を放流事業で広げていきたいんですね。

へえ、やっぱり放流した成果はあるんだ。

てっちゃん船長　赤タン（イカの切り身の付けエサ）で、立派なヒラメが釣れた事例も報告されてます。東京湾でヒラメが釣りもののレギュラーになることだって「あり」でしょう！

川崎「つり幸」八景「野毛屋」同「太田屋」の3隻から八景沖で放して、元気に泳いでいきました。

でね、このヒラメの稚魚がちっちゃいの。手のひらに乗せたらピチピチはねるのね。キャー、こんなヒラメ初めてみた。カワイー。

こうやって、釣り魚で豊かな東京湾が守られているのね。釣り宿のみなさんの努力、もっと、もっと、もっと知ってもらいたいですね～。ヒラメ、頑張れよぉ～！

神奈川県釣船業協組放流実績

年	月	魚種	匹数
1997	10	クロソイ	2万
	12	セイゴ	5000
98	7	黒メバル	3万
	12	マダイ	5000
99	7	ヒラメ	3万
2000	6	ササゴ	2万5000
01	6	ササゴ	2万5000
02	6	ロソイ	2万
03	10	セイゴ	2万
	7	ササゴ	2万
	8	ダイ	5万
	9	ダイ	5万
04	7	ササゴ	5000
	9	ダイ	5万
	10	ママダイ	5万
05	7	カサゴ	5万
08	7	黒メバル	5万
09	7	黒メバル	5万
10	7	黒メバル	5万
11	9	カサゴ	2万
12	10	ササゴ	5000
13	9	カサゴ	2万
14	10	カサゴ	1万
		黒メバル	5000
		黒メバル	5000
15	9	メバル	1万
16	9	メバル	1万
17	7	ハメ	1万
18	9	メラ	1万
19	7	サラ	1万
		ヒカヒ	1万